

2016年度第2四半期 決算説明資料

―2016年11月7日―

京王電鉄株式会社

目次

I. 2016年度第2四半期の業績



II. 2016年度通期の業績見通し



III. 2020年度に向けた取り組みの進捗



I . 2016年度第2四半期の業績

1. 連結損益計算書
2. 連結貸借対照表
3. 連結キャッシュ・フロー計算書
4. セグメント情報

1. 連結損益計算書

(単位：百万円、%)

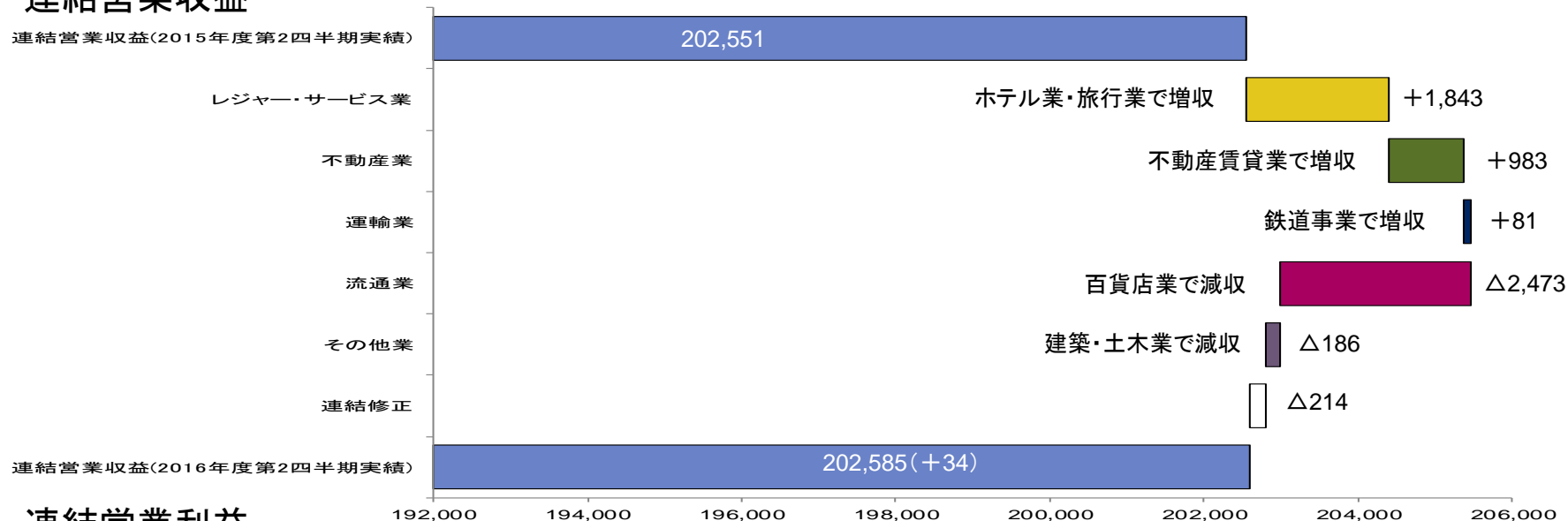
	2015年度 第2四半期 実績	2016年度 第2四半期 実績	増減 (増減率)	2016年度 第2四半期計画 (2016.4.28公表)	差異 (差異率)
連結営業収益	202,551	202,585	34 (0.0)	205,800	△ 3,214 (△ 1.6)
連結営業利益	22,903	22,420	△ 482 (△ 2.1)	21,500	920 (4.3)
連結経常利益	21,622	21,321	△ 301 (△ 1.4)	20,100	1,221 (6.1)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	14,059	14,492	433 (3.1)	13,300	1,192 (9.0)
連結EBITDA	40,364	39,506	△ 857 (△ 2.1)		
連結減価償却費	17,258	16,884	△ 374 (△ 2.2)		
資本的支出	13,860	21,063	7,202 (52.0)		

(注) 連結EBITDAは、営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額により算出している。

1-2. 営業収益・営業利益の変動要因（対前期比較）

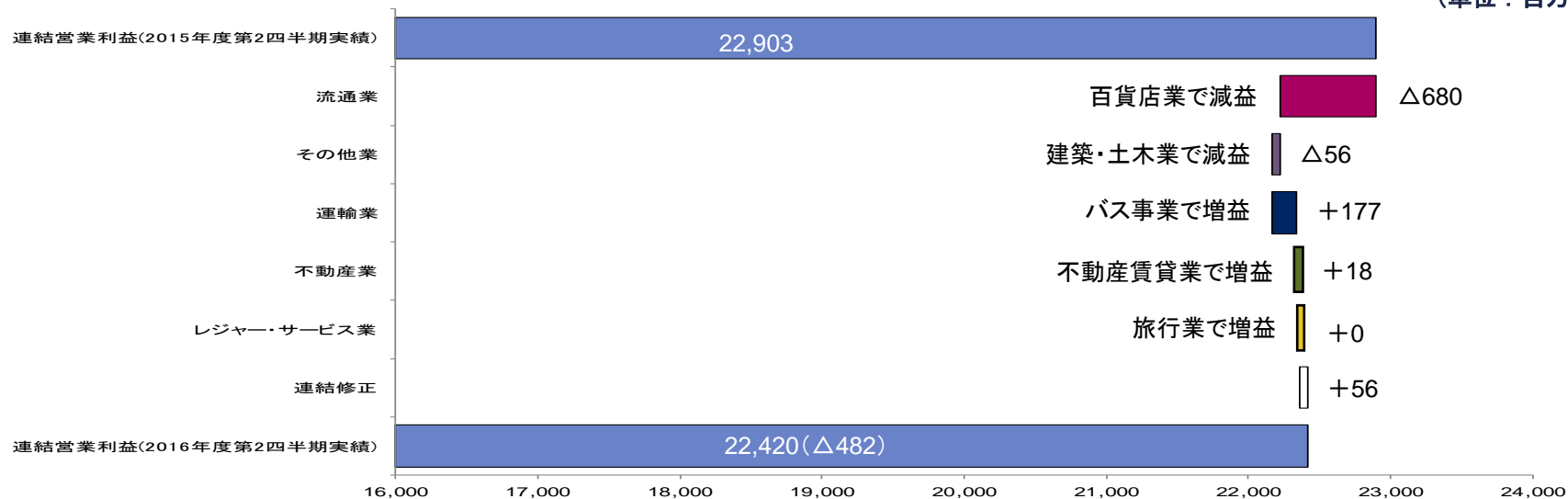
（単位：百万円）

1. 連結営業収益



2. 連結営業利益

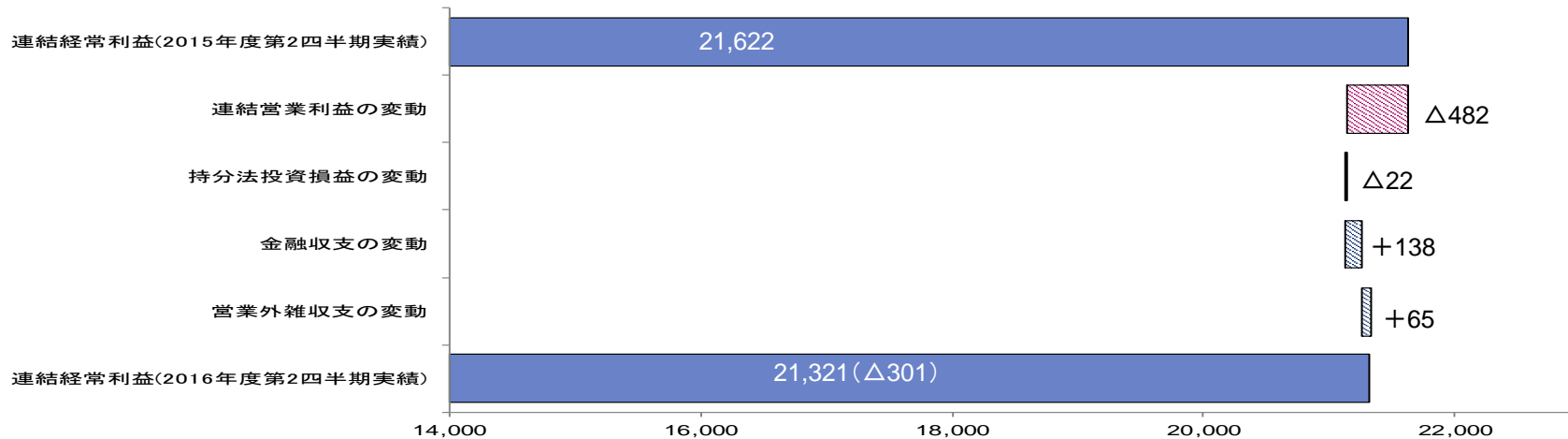
（単位：百万円）



1-3. 経常利益・四半期純利益の変動要因 (対前期比較)

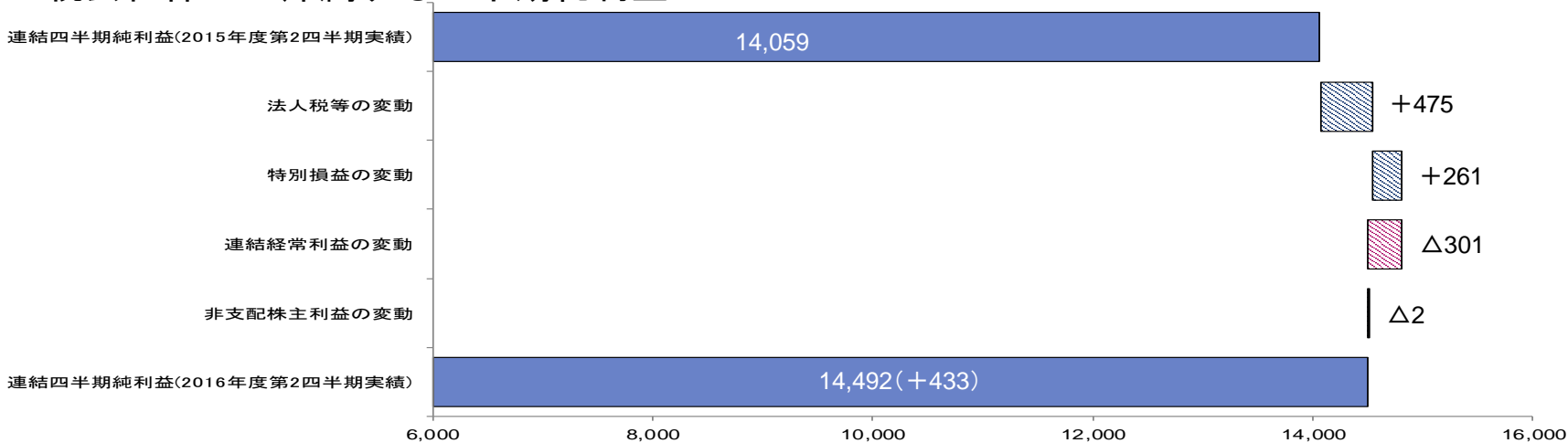
1. 連結経常利益

(単位：百万円)



2. 親会社株主に帰属する四半期純利益

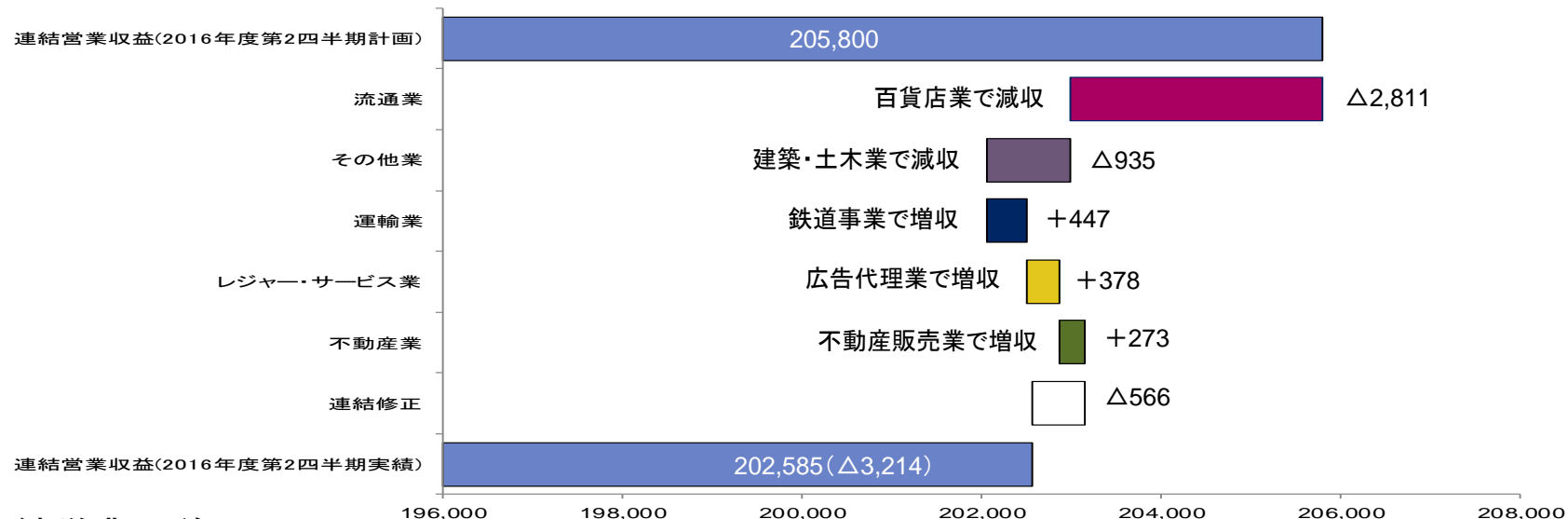
(単位：百万円)



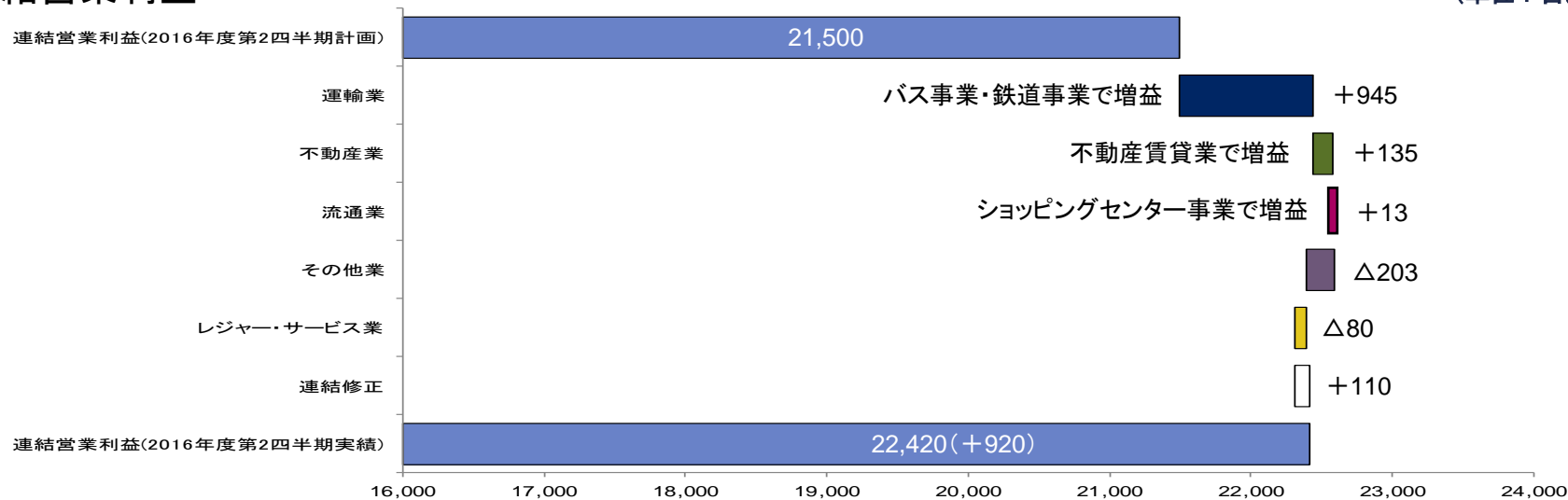
1-4. 営業収益・営業利益の変動要因 (対計画< 4月28日公表ベース>比較)

(単位：百万円)

1. 連結営業収益



2. 連結営業利益

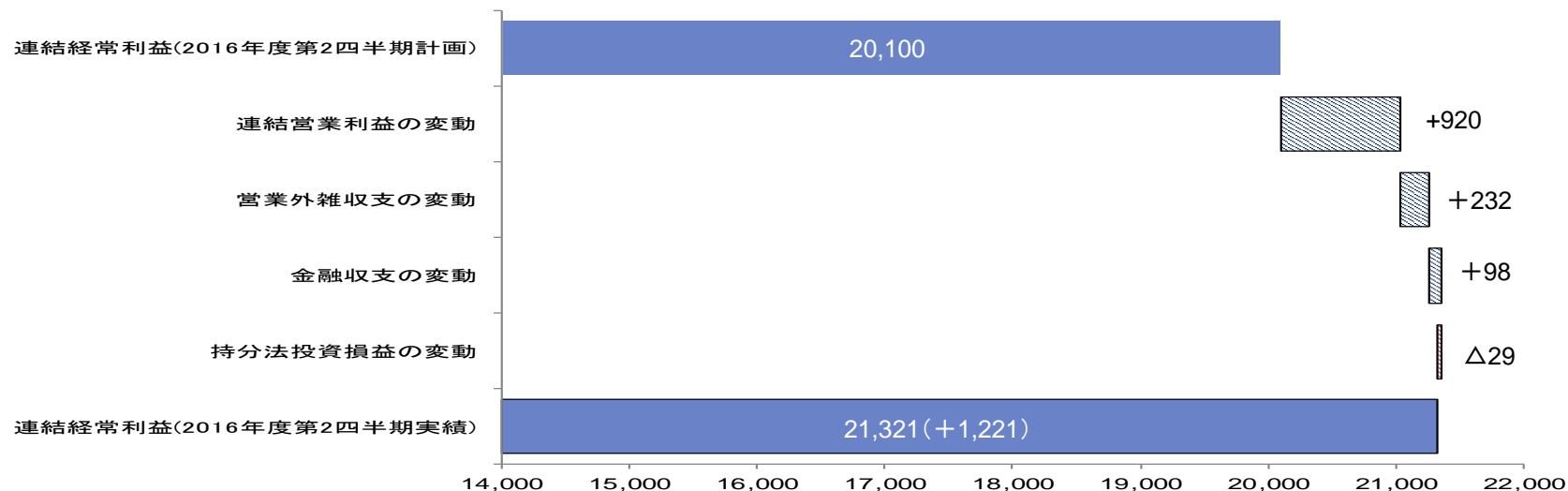


I. 2016年度第2四半期の業績

1-5. 経常利益・四半期純利益の変動要因 (対計画< 4月28日公表ベース>比較)

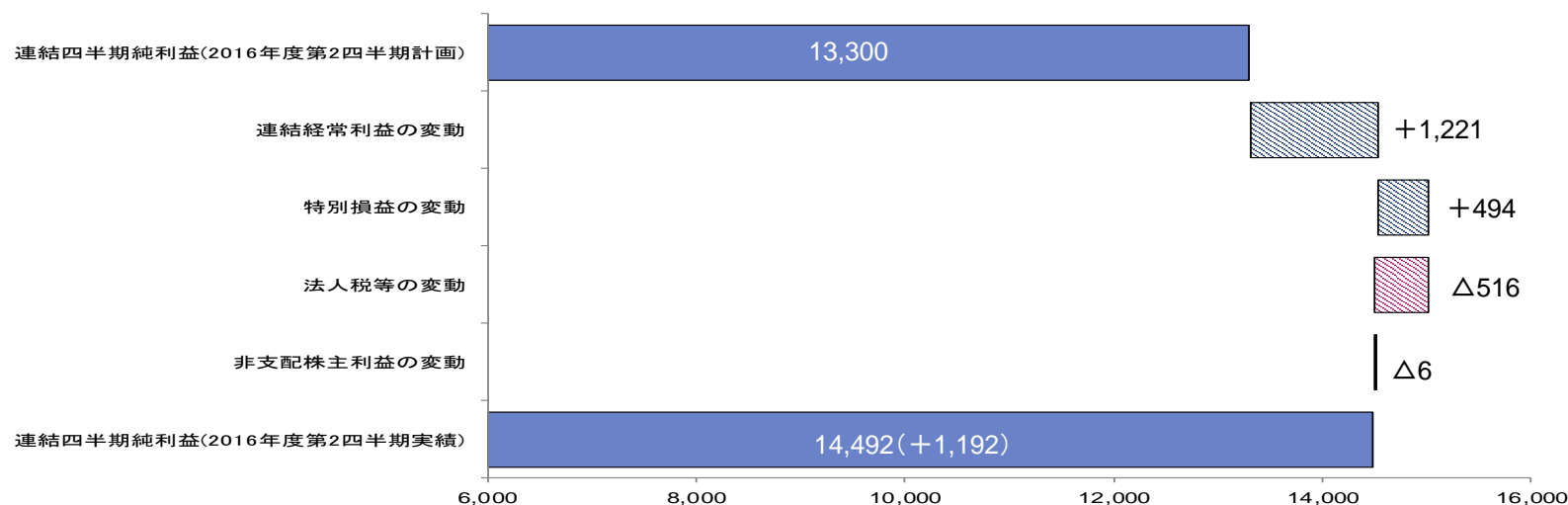
(単位：百万円)

1. 連結経常利益



2. 親会社株主に帰属する四半期純利益

(単位：百万円)



2. 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2015年度 実績	2016年度 第2四半期 実績	増減	増減要因
総 資 産	820,177	801,863	△ 18,314	譲渡性預金の減などにより減少
負 債	508,358	479,484	△ 28,874	第24回無担保割引社債の償還や 工事代金の支払いによる減少
純 資 産	311,818	322,378	10,559	親会社株主に帰属する 四半期純利益の計上により増加
負債及び純資産	820,177	801,863	△ 18,314	
有利子負債	339,306	324,755	△ 14,550	

(注)有利子負債は、借入金＋社債により算出している。

3. 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2015年度 第2四半期実績	2016年度 第2四半期実績	増減	増減要因
営業活動 キャッシュ・フロー	29,151	29,318	166	
投資活動 キャッシュ・フロー	△ 26,655	△ 32,912	△ 6,256	有形及び無形固定資産の取得 による支出の増
財務活動 キャッシュ・フロー	△ 4,579	△ 17,503	△ 12,924	社債の償還による支出の増
現金及び 現金同等物の 期末残高	62,640	68,082	5,442	

4.セグメント情報(構成状況)

連結会社

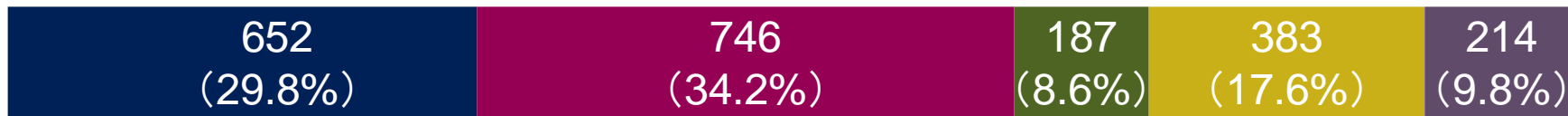
2016年9月末現在 47社 (京王電鉄、京王重機整備は複数の事業セグメントに重複)

運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他業
京王電鉄 京王電鉄バス 京王自動車 他 14社	京王百貨店 京王ストア 京王書籍販売 他 5社	京王電鉄 京王不動産 リビタ 他 3社	京王プラザホテル 京王観光 京王エージェンシー 他 4社	京王設備サービス 京王重機整備 京王建設 他 9社

営業収益

2016年度第2四半期:2,025億円

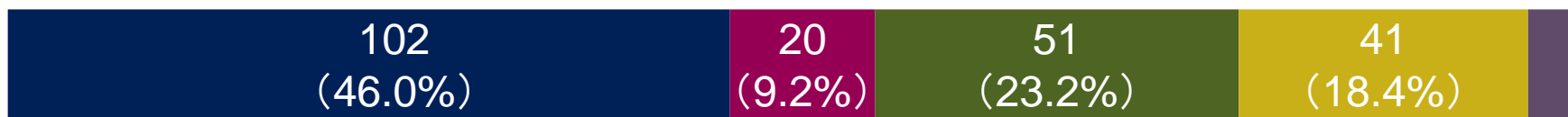
<単位:億円>



営業利益

2016年度第2四半期:224億円

<単位:億円>



(注) セグメントの数値は、セグメント間取引を含む金額、構成比率である。

4.セグメント情報(運輸業①)

(単位：百万円、%)

	2015年度 第2四半期 実績	2016年度 第2四半期 実績	増減 (増減率)	増減 要因	2016年度 第2四半期 計画 (2016.4.28公表 ベース)	差異 (差異率)
(鉄道事業)	41,981	42,418	436 (1.0)	次ページ 参照	42,127	290 (0.7)
(バス事業)	18,078	17,868	△ 210 (△ 1.2)	ターミナル 使用料の 減少など	17,682	186 (1.1)
(タクシー業)	6,272	6,569	297 (4.7)		6,100	468 (7.7)
(その他)	1,330	1,290	△ 39 (△ 3.0)		1,302	△ 12 (△ 0.9)
(消去)	△ 2,508	△ 2,911	△ 402 —		△ 2,424	△ 486 —
営業収益	65,154	65,235	81 (0.1)		64,787	447 (0.7)
営業利益	10,115	10,293	177 (1.8)		9,347	945 (10.1)
減価償却費	11,437	10,881	△ 555 (△ 4.9)			
資本的支出	5,337	3,944	△ 1,393 (△ 26.1)			
E B I T D A	21,553	21,174	△ 378 (△ 1.8)			

4.セグメント情報(運輸業②[鉄道事業運輸成績])

(単位：千人、百万円、%)

		2015年度 第2四半期 実績	2016年度 第2四半期 実績	増減(増減率)		増減要因
輸 送 人 員	定 期	196,134	199,510	3,376	(1.7)	雇用情勢の改善、 ダイヤ改正効果など
	(通 勤)	145,374	148,862	3,488	(2.4)	
	(通 学)	50,760	50,648	△ 112	(△ 0.2)	
	定 期 外	133,991	134,761	770	(0.6)	ダイヤ改正効果など
	合 計	330,125	334,271	4,146	(1.3)	
旅 客 運 輸 収 入	定 期	17,438	17,774	336	(1.9)	
	(通 勤)	15,448	15,786	338	(2.2)	
	(通 学)	1,990	1,988	△ 2	(△ 0.1)	
	定 期 外	22,851	23,010	158	(0.7)	
	合 計	40,289	40,784	495	(1.2)	

4.セグメント情報(流通業)

(単位：百万円、%)

	2015年度 第2四半期 実績	2016年度 第2四半期 実績	増減 (増減率)	増減 要因	2016年度 第2四半期 計画 (2016.4.28公表 ベース)	差異 (差異率)
(百貨店業)	41,160	39,566	△ 1,593 (△ 3.9)	売上の低迷 など	41,790	△ 2,223 (△ 5.3)
(ストア業)	23,005	22,870	△ 134 (△ 0.6)	(注)	23,261	△ 390 (△ 1.7)
(書籍販売業)	4,179	3,524	△ 654 (△ 15.7)	不採算店舗 を閉鎖した 影響など	3,741	△ 216 (△ 5.8)
(ショッピングセンター事業)	6,553	6,280	△ 273 (△ 4.2)		6,322	△ 42 (△ 0.7)
(その他)	5,723	5,593	△ 130 (△ 2.3)		5,728	△ 135 (△ 2.4)
(消去)	△3,472	△3,158	314	—	△3,355	197
営業収益	77,149	74,676	△ 2,473 (△ 3.2)		77,488	△ 2,811 (△ 3.6)
営業利益	2,745	2,065	△ 680 (△ 24.8)		2,051	13 (0.7)
減価償却費	1,962	1,907	△ 54 (△ 2.8)			
資本的支出	2,704	2,628	△ 75 (△ 2.8)			
E B I T D A	4,707	3,972	△ 735 (△ 15.6)			

(注)2016年4月にストア業を運営する「株京王ストア」と販売店業を運営する「京王リテールサービス(株)」が合併したことに伴い、2016年度より販売店業はストア業に含めて表示している。前年度数値についても同様の組替を行っている。

4.セグメント情報(不動産業)

(単位：百万円、%)

	2015年度 第2四半期 実績	2016年度 第2四半期 実績	増減 (増減率)	増減 要因	2016年度 第2四半期 計画 (2016.4.28公表ベース)	差異 (差異率)
(不動産賃貸業)	15,770	16,759	989 (6.3)	賃貸物件の増 など	16,483	276 (1.7)
(不動産販売業)	4,918	5,268	350 (7.1)	リノベーション 物件の売上増 など	4,871	397 (8.2)
(その他)	743	858	114 (15.5)		944	△ 85 (△ 9.1)
(消去)	△ 3,681	△ 4,151	△ 470 —		△ 3,837	△ 314 —
営業収益	17,751	18,735	983 (5.5)		18,461	273 (1.5)
営業利益	5,166	5,185	18 (0.4)		5,050	135 (2.7)
減価償却費	2,234	2,237	2 (0.1)			
資本的支出	1,356	603	△ 753 (△ 55.6)			
E B I T D A	7,604	7,625	21 (0.3)			

参考：不動産業の営業利益の内訳

(単位：億円、%)

不動産賃貸業	48	53	4 (9.5)		53	△ 0 (△ 0.2)
不動産販売業	4	0	△ 3 (△ 80.3)		0	0 (48.9)

4.セグメント情報(レジャー・サービス業)

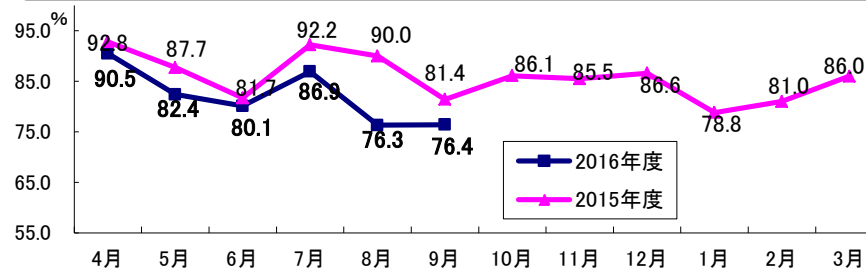
(単位：百万円、%)

	2015年度 第2四半期 実績	2016年度 第2四半期 実績	増減 (増減率)	増減要因	2016年度 第2四半期 計画 (2016.4.28公表ベース)	差異 (差異率)
(ホテル業)	23,502	24,160	657 (2.8)	京王プラザホテルで客室単価が向上したことなど	24,219	△ 59 (△ 0.2)
(旅行業)	9,313	9,807	493 (5.3)	団体旅行の受注増など	9,983	△ 176 (△ 1.8)
(広告代理業)	5,216	5,710	494 (9.5)		5,402	308 (5.7)
(その他)	3,220	3,416	196 (6.1)		3,368	48 (1.4)
(消去)	△ 4,746	△ 4,744	1 -		△ 5,002	257 -
営業収益	36,507	38,350	1,843 (5.0)		37,972	378 (1.0)
営業利益	4,123	4,124	0 (0.0)		4,204	△ 80 (△ 1.9)
減価償却費	1,572	1,828	256 (16.3)			
資本的支出	1,760	11,586	9,825 (558.0)			
E B I T D A	5,696	5,952	256 (4.5)			

[参考1] 京王プラザホテル(新宿)の客室稼働率〔累計〕

客室稼働率	87.7%	82.1%	△ 5.6P
-------	-------	-------	--------

[参考2] 京王プラザホテル(新宿)の客室稼働率の推移〔単月〕



4.セグメント情報(その他業)

(単位：百万円、%)

	2015年度 第2四半期 実績	2016年度 第2四半期 実績	増減(増減率)	増減 要因	2016年度 第2四半期 計画 (2016.4.28公表ベース)	差異(差異率)
(ビル総合管理業)	9,373	9,814	440 (4.7)		10,090	△ 275 (△ 2.7)
(車両整備業)	3,017	3,605	588 (19.5)		3,616	△ 10 (△ 0.3)
(建築・土木業)	6,883	5,575	△ 1,308 (△ 19.0)	完成工事高 が減少した ことなど	6,417	△ 841 (△ 13.1)
(その他)	3,296	3,435	138 (4.2)		3,427	7 (0.2)
(消去)	△ 939	△ 985	△ 45 —		△ 1,169	184 —
営業収益	21,631	21,445	△ 186 (△ 0.9)		22,381	△ 935 (△ 4.2)
営業利益	782	726	△ 56 (△ 7.2)		930	△ 203 (△ 21.9)
減価償却費	147	134	△ 12 (△ 8.5)			
資本的支出	368	29	△ 339 (△ 92.0)			
E B I T D A	930	861	△ 68 (△ 7.4)			

Ⅱ. 2016年度通期の業績見通し

1. 連結損益計算書
2. セグメント情報
3. [参考]下期の業績見通し

1. 連結損益計算書

(単位：億円、%)

	2015年度 実績	2016年度 予想	増減 (増減率)	2016年度 計画 (2016.4.28公表 ベース)	差異 (差異率)
連結営業収益	4,162	4,200	37 (0.9)	4,269	△ 69 (△ 1.6)
連結営業利益	377	379	1 (0.4)	379	—
連結経常利益	350	356	5 (1.5)	352	4 (1.1)
親会社株主に帰属 する当期純利益	194	(注1) 198	3 (1.7)	198	—
連結EBITDA	737	(注2) 731	△ 6 (△ 0.9)	735	△ 4 (△ 0.5)
連結減価償却費	355	345	△ 10 (△ 2.8)	349	△ 3 (△ 1.1)
資本的支出	463	774	310 (67.0)	774	—

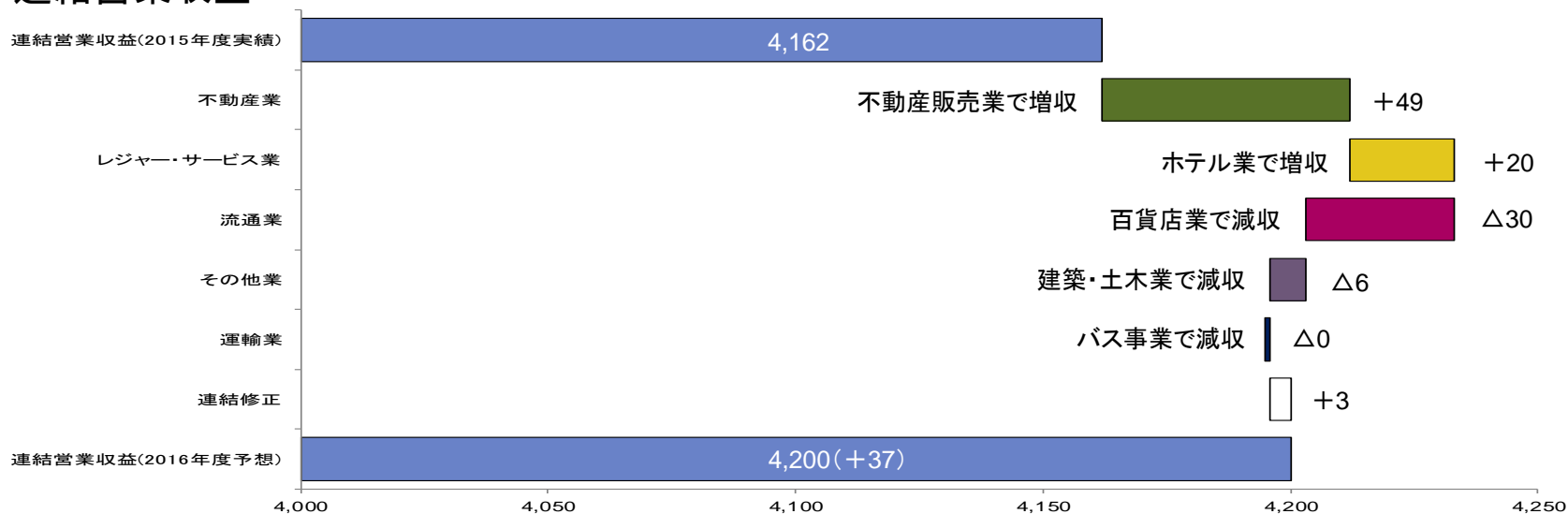
(注1) 2016年度予想における特別損失には、将来の体質強化を見据えたコストを2015年度実績と同水準見込んでいる。

(注2) 連結EBITDAは、営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額により算出している。

1-2. 営業収益・営業利益の変動要因（対前期比較）

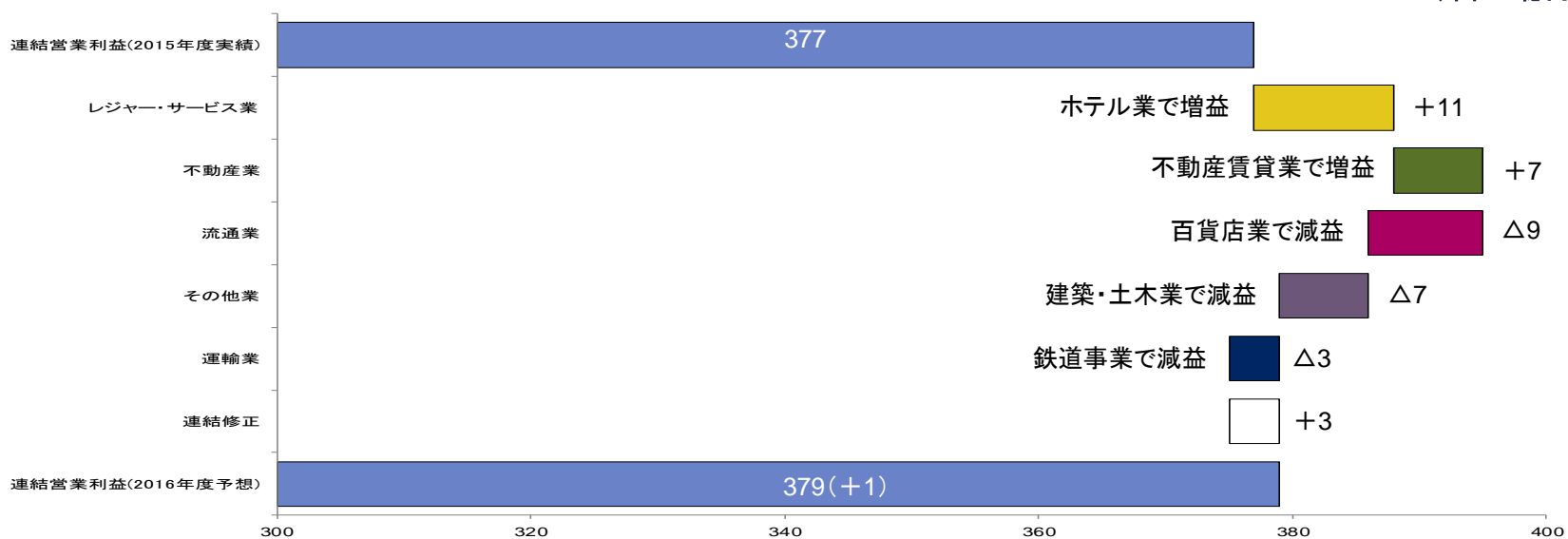
1. 連結営業収益

（単位：億円）



2. 連結営業利益

（単位：億円）



2.セグメント情報(運輸業①)

(単位：億円、%)

	2015年度 実績	2016年度 予想	増減 (増減率)	増減要因	2016年度 計画 (2016.4.28公表 ベース)	差異 (差異率)
(鉄 道 事 業)	837	845	7 (0.9)	次ページ参照	844	0 (0.1)
(バ ス 事 業)	353	348	△ 5 (△ 1.4)	ターミナル使用 料の減少など	348	0 (0.0)
(タ ク シ ー 業)	125	130	5 (4.3)		122	7 (6.4)
(そ の 他)	27	26	△ 0 (△ 2.9)		26	0 (1.7)
(消 去)	△ 51	△ 59	△ 7 —		△ 48	△ 11 —
営 業 収 益	1,292	1,291	△ 0 (△ 0.0)		1,293	△ 2 (△ 0.2)
営 業 利 益	150	147	△ 3 (△ 2.4)	退職給付費用 の影響など	136	11 (8.2)
減 価 償 却 費	233	222	△ 11 (△ 4.7)		223	△ 1 (△ 0.5)
資 本 的 支 出	221	280	58 (26.4)		280	—
E B I T D A	384	370	△ 14 (△ 3.9)		360	10 (2.8)

2.セグメント情報(運輸業②[鉄道事業運輸成績])

(単位：千人、百万円、%)

		2015年度 実績	2016年度 予想	増減 (増減率)		増減要因
輸 送 人 員	定 期	383,728	389,587	5,859	(1.5)	雇用情勢の改善、ダイヤ改正効果など
	(通 勤)	289,730	295,794	6,064	(2.1)	
	(通 学)	93,998	93,793	△ 205	(△ 0.2)	
	定 期 外	268,612	270,363	1,751	(0.7)	ダイヤ改正効果など
	合 計	652,340	659,950	7,610	(1.2)	
旅 客 運 輸 収 入	定 期	34,480	35,068	587	(1.7)	
	(通 勤)	30,792	31,384	591	(1.9)	
	(通 学)	3,688	3,684	△ 3	(△ 0.1)	
	定 期 外	45,832	46,226	393	(0.9)	
	合 計	80,313	81,294	981	(1.2)	

〔参考〕 主要各社の取り組み

京王多摩センター駅におけるサンリオピューロランドとのコラボレーション企画の実施



- サンリオピューロランドの玄関口である京王多摩センター駅において、国内外からのお客様の来訪と地域活性化を目的とした駅装飾が完成。



2.セグメント情報(流通業)

(単位：億円、%)

	2015年度 実績	2016年度 予想	増減 (増減率)	増減 要因	2016年度 計画 (2016.4.28公表 ベース)	差異 (差異率)
(百貨店業)	874	854	△ 19 (△ 2.3)	売上の 低迷など	907	△ 52 (△ 5.8)
(ストア業)	462	465	2 (0.6)	(注)	470	△ 4 (△ 1.1)
(書籍販売業)	81	71	△ 10 (△ 12.5)	不採算店 舗を閉鎖し た影響など	75	△ 3 (△ 5.0)
(ショッピングセンター事業)	129	125	△ 4 (△ 3.3)		126	△ 1 (△ 1.2)
(その他)	117	116	△ 0 (△ 0.5)		118	△ 2 (△ 1.9)
(消去)	△ 66	△ 65	1 —		△ 67	2 —
営業収益	1,599	1,569	△ 30 (△ 1.9)		1,632	△ 62 (△ 3.8)
営業利益	47	38	△ 9 (△ 19.1)		47	△ 9 (△ 20.2)
減価償却費	41	40	△ 1 (△ 3.0)		41	△ 1 (△ 3.2)
資本的支出	49	129	80 (163.2)		129	—
E B I T D A	88	78	△ 10 (△ 11.4)		90	△ 11 (△ 12.8)

(注)2016年4月にストア業を運営する「株京王ストア」と販売店業を運営する「京王リテールサービス株」が合併したことに伴い、2016年度より販売店業はストア業に含めて表示している。前年度数値についても同様の組替を行っている。

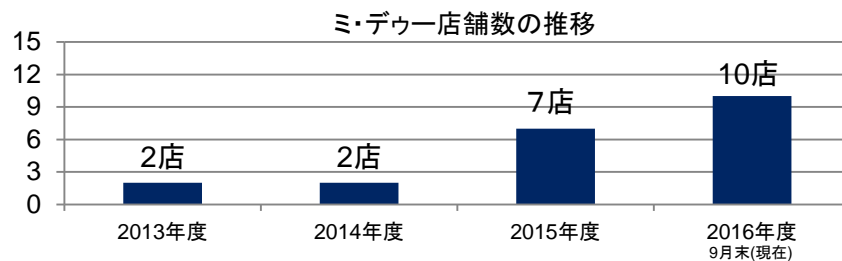
〔参考〕 主要各社の取り組み

京王百貨店における新たな取り組み

卸売り事業の拡大



百貨店独自の婦人服ブランド「ミ・デウ」の出店を加速。14年に京王百貨店の新宿店、聖蹟桜ヶ丘店に出店後、15年秋から地方百貨店を中心に外部出店を本格化し、販売拠点は16年9月中旬には10店まで拡大。



インターネット通販事業会社の株式取得

【会社名】	セレクトチャー株式会社
【事業内容】	衣料、キッチン用品及び 雑貨のEC事業
【資本金】	10百万円
【直前期の売上高】	1,383百万円
【株式の取得先】	クックパッド株式会社

SELECTURE

EC専門会社のノウハウやマーケティング力と京王百貨店の経営資源との相乗効果、京王グループ各社との連携等により、EC事業における新たな事業機会の創出と顧客基盤の拡充を図る。

2.セグメント情報(不動産業)

(単位：億円、%)

	2015年度 実績	2016年度 予想	増減 (増減率)	増減要因	2016年度 計画 (2016.4.28公表 ベース)	差異 (差異率)
(不動産賃貸業)	319	337	17 (5.6)		333	3 (1.1)
(不動産販売業)	121	155	34 (28.2)	リノベーション物件の売上増など	143	11 (8.3)
(その他)	14	18	3 (24.9)		21	△ 2 (△ 13.5)
(消去)	△ 76	△ 82	△ 5 —		△ 76	△ 5 —
営業収益	378	428	49 (13.1)		421	6 (1.6)
営業利益	86	93	7 (8.2)		93	0 (0.4)
減価償却費	45	44	△ 1 (△ 3.1)		45	△ 1 (△ 2.4)
資本的支出	116	221	105 (90.9)		221	—
E B I T D A	136	142	5 (4.2)		143	△ 1 (△ 0.7)

参考：不動産業の営業利益の内訳

(単位：億円、%)

不動産賃貸業	82	92	9 (11.7)		91	0 (0.4)
不動産販売業	11	6	△ 4 (△ 43.2)		7	△ 1 (△ 17.3)

2.セグメント情報(レジャー・サービス業)

(単位：億円、%)

	2015年度 実績	2016年度 予想	増減 (増減率)	増減要因	2016年度 計画 (2016.4.28公表 ベース)	差異 (差異率)
(ホテル業)	484	495	11 (2.4)	京王プラザホテルで客室単価が向上したことなど	496	△ 0 (△ 0.2)
(旅行業)	169	177	8 (4.9)	団体旅行の受注増など	178	△ 1 (△ 0.6)
(広告代理業)	120	122	1 (1.0)		122	0 (0.0)
(その他)	62	65	3 (4.8)		64	1 (1.8)
(消去)	△ 96	△ 99	△ 2 —		△ 101	1 —
営業収益	740	761	20 (2.8)		760	0 (0.1)
営業利益	60	71	11 (18.8)		75	△ 4 (△ 5.8)
減価償却費	33	37	4 (12.5)		36	0 (2.3)
資本的支出	76	132	55 (72.5)		132	—
E B I T D A	93	110	16 (17.5)		113	△ 3 (△ 2.7)

[参考] 京王プラザホテル(新宿)の客室稼働率〔累計〕

客室稼働率	85.8%	82.0%	△3.8P
-------	-------	-------	-------

〔参考〕 主要各社の取り組み

京王プラザホテルの改装

- 本館高層階客室を全面改装し、「プレミアグラン」として12月中旬にオープン。専用クラブラウンジも新設。
- 2020年の東京五輪・パラリンピック、2021年の50周年以降を見据え、「東京を代表するホテル」を目指す。

Premier Grand

客室(37~41階)



プレミアグラン

- 客室面積: 33.7~35.5㎡
- 客室数: 100室



プレミアグランドスイート

- 客室面積: 71.0㎡
- 客室数: 11室

- 水廻り(浴室、洗面、トイレ)の完全3点分離
- ガラス壁の洗い場付きユニットバス
- EVカードキー制御によるフロアセキュリティ など

専用クラブラウンジ(45階)



クラブラウンジ

- 敷地面積: 約535㎡

- 高品質なクラブラウンジ朝食
- 専用チェックインカウンター
- 専任コンシェルジュサービス

室料収入の最大化をめざし、
「京王プラザホテルブランド」の更なる価値向上を図る。

2.セグメント情報(その他業)

(単位：億円、%)

	2015年度 実績	2016年度 予想	増減 (増減率)	増減要因	2016年度 計画 (2016.4.28公表 ベース)	差異 (差異率)
(ビル総合管理業)	224	232	7 (3.5)		228	4 (1.8)
(車両整備業)	94	97	2 (3.0)		95	1 (1.9)
(建築・土木業)	242	217	△ 25 (△ 10.3)	完成工事高が減少したことなど	222	△ 5 (△ 2.5)
(その他)	71	76	4 (6.8)		76	△ 0 (△ 0.6)
(消去)	△ 24	△ 22	2 —		△ 32	9 —
営業収益	608	601	△ 6 (△ 1.1)		591	9 (1.6)
営業利益	43	35	△ 7 (△ 17.2)		35	0 (1.2)
減価償却費	3	2	△ 0 (△ 10.0)		3	△ 0 (△ 26.0)
資本的支出	6	16	10 (178.4)		16	—
E B I T D A	46	38	△ 8 (△ 17.3)		40	△ 1 (△ 3.8)

3. [参考] 下期の業績見通し(連結損益計算書・セグメント情報)

(単位：億円、%)

	営業収益			営業利益		
	2015年度 下期実績	2016年度 下期予想	増減 (増減率)	2015年度 下期実績	2016年度 下期予想	増減 (増減率)
運 輸 業	640	639	△ 1 (△ 0.2)	49	44	△ 5 (△ 10.9)
流 通 業	827	822	△ 5 (△ 0.7)	19	17	△ 2 (△ 11.2)
不 動 産 業	201	241	39 (19.8)	34	41	6 (20.0)
レジャー・サービス業	375	378	2 (0.7)	18	30	11 (59.7)
そ の 他 業	392	387	△ 5 (△ 1.3)	35	28	△ 6 (△ 19.4)
連 結 修 正	△ 300	△ 294	5 —	△ 10	△ 6	3 —
合 計	2,137	2,173	36 (1.7)	148	155	6 (4.7)

(単位：億円、%)

	2015年度 下期実績	2016年度 下期予想	増減 (増減率)	
経 常 利 益	134	143	8	(6.4)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	54	53	△ 0	(△ 0.7)

Ⅲ. 2020年度に向けた取り組みの進捗

1. 中長期的な投資案件スケジュール
2. 沿線拠点の活性化
3. 沿線価値の向上

Ⅲ. 2020年度に向けた取り組みの進捗

1. 中長期的な投資案件スケジュール

	2015年度	2016年度	2017年度	~2020年度
安全性・収益力の向上				
笹塚駅～仙川駅間 連続立体交差事業				〔2022年度 事業完成予定〕
ダイヤ改正	2015年9月 京王線・井の頭線	2016年9月 京王線・井の頭線	2018年春予定	
座席指定列車の導入	導入決定	新型車両の設計・製造	運行開始 2018年春予定	
事業拡大		より幅広い顧客を取込むための施策の検討		
ホテル事業の拡大	<京王プレッソイン> 赤坂店 2015年7月開業		東京駅八重洲店(仮称) 2017年夏開業予定 浜松町店(仮称) 2017年冬開業予定	京王プレッソイン出店拡大 新業態ホテルの開発・展開
リノベーション事業の拡大	シェア型複合ホテル1号店 2016年3月開業(金沢)		シェア型複合ホテルの多店舗展開	シェアコミュニティ 市場等の拡大
インバウンドビジネスの拡大		新たな広域観光ルートづくり 新たなフリーきっぷの造成 新宿に観光案内所開業	インバウンドビジネスの検討・実施の継続	
海外関連事業の拡大	台湾茶カフェ1号店開業 中国カレーレストラン1号店開業	台湾茶カフェ2・3号店開業 中国カレーレストラン2・3号店開業	海外関連事業の検討・実施の継続	
その他	民泊事業者株式取得	東京都大田区で 民泊事業トライアル開始予定	新規事業の検討	
沿線拠点の活性化				
調布駅周辺の開発		2016年4月着工	2017年秋 開業予定	
沿線拠点開発の推進	京王高尾山温泉 2015年10月開業	将来に向けた検討の継続(新宿など)		
沿線価値の向上				
生活支援サービスの 多面的展開	<子育て支援事業> 子育て支援賃貸マンション 2016年3月完成	子育て支援・女性の就業支援施設 新規開設の検討		
	<シニア向け事業>	介護付有料老人ホーム サービス付き高齢者向け住宅 2016年5月開業 2017年2月開業予定	新規開設に向けた検討	
	<葬祭事業>	京王メモリアル調布 2016年6月開業	新規開設に向けた検討	
多摩動物公園エリア 魅力向上への取り組み		子供向け屋内型遊戯施設の建設	2018年春 開業予定	

2. 沿線拠点の活性化 — 調布駅周辺の開発

■ 開発コンセプト「結ぶ ～駅ビルがコト・モノを結ぶ役割を果たすことで、人々がつながりあうキッカケをつくる～」

2016年4月に着工、2017年秋の開業を目指す。総延床面積は約38,000㎡。

A館は多彩な専門店を誘致し、B館の核テナントには大手家電量販店、C館の核テナントには大型シネマコンプレックスが出店。

3館の出店店舗数は約70店舗となる予定。



A館外観イメージ

【A館】出店テナント：ファッション・雑貨・食物販・カフェ・レストラン等



B館外観イメージ

【B館】出店テナント：株式会社ビックカメラほか



C館外観イメージ

【C館】出店テナント：イオンエンターテイメント株式会社ほか



3. 沿線価値の向上 — 多摩動物公園エリアの魅力向上

- 多摩動物公園駅前に子供向け遊戯施設を建設し、多摩動物公園・京王れーるランドとの相乗効果により、親子で楽しめるエリアとして多摩動物公園エリアの更なる魅力向上・活性化を図る。
- 2018年春の開業予定、年間約25万人の集客を見込む。



〈木育イメージ〉



〈知育イメージ〉



〈ネット遊具イメージ〉

子供向け遊戯施設

- **メインターゲット:**
未就学児を持つ子育て世代の親子
- **施設内容:**
「木育」、「体育」、「知育」の三要素を同時に楽しめる大型の施設。
大型のネット遊具や
屋内常設のミニ機関車のほか、
子どもを見ながらゆっくりくつろげる
テラス席を併設したレストランを備え、
親子で楽しめる施設を目指す。
- **構造・規模:**鉄骨造 地上2階建
- **延床面積:**約2,900㎡
- **開業予定:**2018年春

3. 沿線価値の向上 - シニア向け事業の拡充

- 2017年2月、サービス付き高齢者向け住宅「スマイラス聖蹟桜ヶ丘」を開業予定。
- シニア層の暮らしの不安・不便の解消とアクティブライフのサポートを行い、高齢者がいつまでも生き生きと暮らしていける生活環境を実現する。



事業概要

- 全館バリアフリー構造で各住戸にキッチン・浴室を完備。
- スタッフが24時間365日常駐。また、栄養バランスのとれた食事サービスを提供。
- 医療法人と提携し介護・看護サービスを提供するほか、地域の医療・介護の相談窓口を設置。

所在地：東京都多摩市関戸

戸数：53戸

開業：2017年2月予定

運営：京王ウェルシステージ(株)



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。